

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6 年 1 月 24 日

公表: 令和 6 年 2 月 15 日

事業所名 放課後等デイサービスきらり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	4	学習部屋の確保	・一階支援室とは別に学習室の確保にて集中した時間が取れるようにしています
	2	職員の配置数は適切である	7	1		・職員のスキルアップは必要と感じ今後計画的実施予定
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	5	階段移動時はスタッフが必ず付き添い安全配慮に努めている	・必要に応じた改善考慮していきます
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2	朝礼にて目標確認の実施	・スタッフのスキルアップも考慮し研修参加するようにします
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	利用アンケート等の配布も行っている	・保護者様の意見を取り入れられるように今後もアンケート配布と実施に努めていきます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			・毎年、事業所ホームページの掲載しております
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	5	設置されているか分からない	・回収場所を別に設けることで、第三者より外部評価を得られるようにしています
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	5	研修等があれば参加したい	・研修参加を増やしてスキルアップをしていきます
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			・活動を元に行っているため固定化している、スタッフ配置の元活動範囲を増やしてもいい
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	3	負担や内容が偏りがち	・話し合いを元に来ることを分担しながら取り入れていきます
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1		・固定化しないように努めていきます
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			・集団活動に参加が難しい利用者様への配慮して段階に応じて計画します。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			・毎日実施しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	4	当日ミーティングで共有している	・終礼ができていないが情報共有を図るよう努めていきます
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			・会議を通して情報共有を行い必要な支援ができるように努めていきます
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	3		・ガイドライン周知に努めていきます

関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	7	1	・今後も引き続き会議参加に努め会議決定の情報共有を支援に反映していきます
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8		・利用者様の安全面を第一に考慮し学校との情報共有に努めているが、学校側の受け入れに差があるのが現状である。円滑に出来るよう行政との連携を取りながら助言を受けていきたいと思っています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			・現在受け入れていません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	5	・移行支援会議参加や訪問を行い情報共有に努めています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		5	・必要時に応じて行っている。情報共有できるように様式作成に努めていきます
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		5	・必要に応じて連携をとっていきます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7	・直接かかわりはないが、公共施設に出向き関係機関との連携が取れるように努めていきます
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		7	・今後参加ができるように努めていきます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		・その日の支援内容を申し送り利用日以外の時でも随時連絡ができる環境づくりをおこなっていきます
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	4	・ペアトレ実施をしていないが、繰り返しロープレを行いながら支援に活かしていきます。保護者様からの相談や問題点を迅速に対応して今後も解決できるように努めていきます
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		・見学、契約時、面談時を通してご説明をするように心がけています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		・情報共有に努め相談内容に応じてスタッフ対応を心掛けている ・今後も相談内容に合わせて適切な対応、助言ができるようにスキルアップを図っていきます
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	・今後機会を設け保護者様の参加を促していきたいと思えます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		・苦情等に繋がらないように保護者様との情報共有を行い問題点は迅速対応に心がけています。今後も継続していきたいです。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	・年間通して定期的に配布ができるようにしていきます
	35	個人情報に十分注意している	8		写真や個人名の扱いは徹底されている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		・利用者様の特性を知り意思疎通や情報伝達に努めていきます
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	2		・マニュアル策定しているが、保護者様周知はまだ不足がちなため今後機会を作り発信できるように努めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2	定期的に訓練実施	・定期的な避難訓練と災害訓練を活動に取り入れて訓練実施を今後も継続していきます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	2		・事業所研修や事例検討などを行い最善なる防止に努めていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1		・面談等で協議し計画書に記載させています。そのようなことがないよに支援内容に見直しを行い身体拘束を行わずに過ごせるように改善に努めていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	保護者様との情報共有を行っている	・保護者様との情報共有を行い必要に応じて医師診断書記載にて共通理解をしていくように今後も継続していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		スタッフ間での情報共有している	・事故トラブルを未然に防げるように、その都度ヒヤリハットを出して会議にて改善を図っている